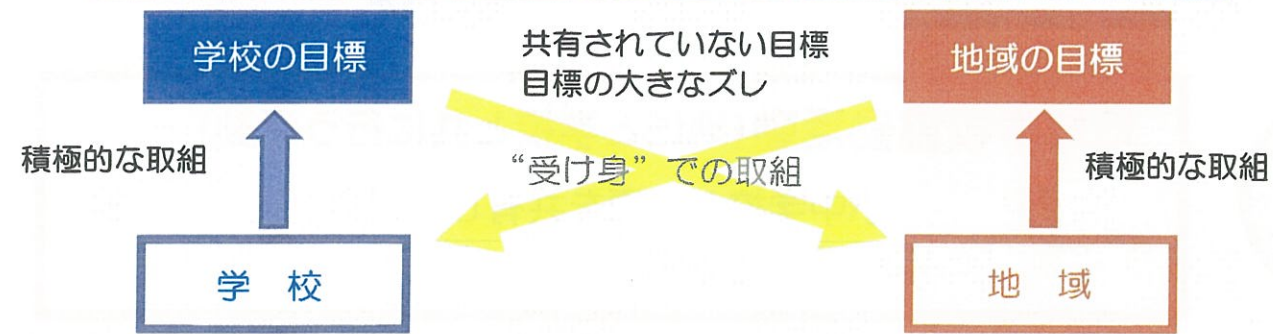
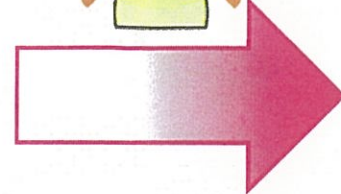


コミュニティ・スクール、地域学校協働活動を導入する前は…

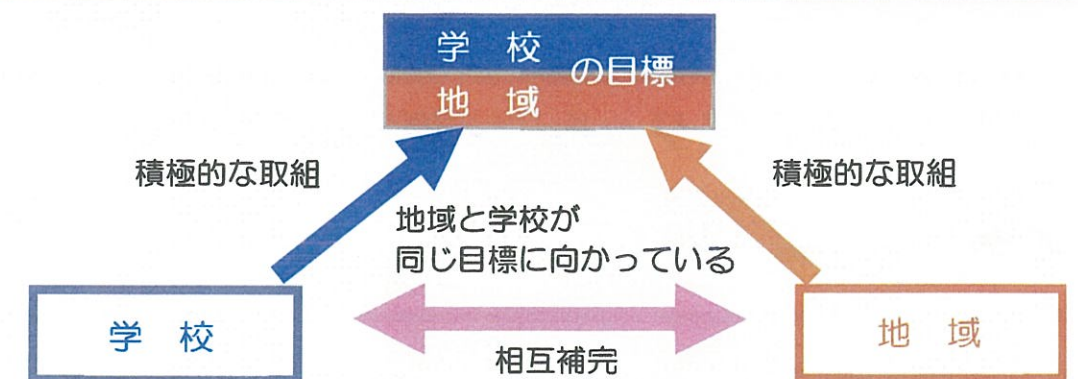


学校と地域との目標に大きなズレがあったり、その目標が共有されていなかったりする場合、お互いに「頼まれたからやる」や「この前手伝ってもらったからやる」といった受け身の姿勢になってしまいます。
→これでは地域にとっても学校にとっても、直接的に自分たちのメリットとならないため、“負担感”や“やらされ感”があり、“不満”がたまる可能性があります。

つながる！ 広がる！
三川町の
連携・協働のしくみ



コミュニティ・スクール、地域学校協働活動を導入すると…



学校と地域で共通の目標が設定されると、お互いに前向きな姿勢で取り組むことができます。子どもたちの教育効果も大いに期待できます。
→“学校と地域が一体”となって、“役割分担”をしながら、それぞれが“主体的に”取り組むので、お互いに“達成感”を味わうことができます。

目的や課題を共有し、地域ぐるみで子どもの教育にかかわることができます。

- ・近所で元気がない様子の子どもがいても、なかなか声をかけることができない。
- ・近くの公園で子どもが騒いだり、ごみを散らかしたままにしていたりするので、学校へ苦情の電話をかける。
- ・学校が実施する取り組みのメリットや効果について、保護者や地域住民に十分に伝わっていない。



- ・地域住民が子どもたちに積極的に声をかけたり、自ら指導したりする場面が増加します。
- ・学校任せにするのではなく、地域住民等がともに対応策を考えます。
- ・地域ぐるみで考え、実践することで、地域の声を生かした教育が実現できます。

子どもたちの学びや体験が充実し、地域への愛着心が育ちます。大人にとっても自己有用感や生きがいにつながります。

- ・自分の経験を生かして学校や子どもたちをサポートしたいが、迷惑にならないか？
- ・地域の人々の思いや考えに触れる機会が、なかなか得られない。
- ・地域人材を活用した学習がどれもイベント的になっている。



- ・地域の大人が専門性や得意なことを発揮し、地域の力を生かした学校運営や教育活動が実現します。
- ・学校が社会的なつながりを得られる場となり、地域住民のよりどころとなります。
- ・子どもたちは地域住民との関わりを通して、自信をもったり、地域への愛着を抱いたりします。
- ・地域住民等の考えや地域の特性を生かすことで、子どもたちの学びがより豊かに、広がりを持ちます。
- ・大人にとっても、学校や地域住民同士の関わりを通して自己有用感や生きがいにつながります。

地域住民や保護者と学校が「顔が見える関係」となり、理解と協力を得た学校運営が実現します。

- ・価値観の多様化により、学校の運営方針や諸課題について厳しい意見が多い。
- ・教職員の異動や地域の人との交代があると、活動の方向性が変わってしまう。
- ・保護者や地域住民から様々な要望があり、その対応に追われてしまう。



- ・学校の現状や運営方針について理解が深まり、地域が学校の応援団となります。
 - ・定期的に協議する場が設置されるため、より学校・地域・家庭の意見を反映した、組織的・継続的な運営ができます。
 - ・学校・家庭・地域の適切な役割分担により、教職員が子どもと向き合う時間の確保につながります。
- 〔さらにこんな効果も〕大規模災害時等、緊急な対応が必要な場面においても、学校と地域が一体となり迅速かつ組織的な対応へとつながります。

三川町では、すでに連携がうまく行われているのですが、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動のしくみは必要ですか？



三川町の連携が
さらに進化！

多様化する教育課題について、話し合う場をつくり、効果的に共有・解決へ！
これまでの連携協働が、さらに「組織的で持続可能なしくみ」へと進化！

これまで、三川町では、学校が地域住民等や保護者から意見を得るしくみとして、「学校評価アンケート」や「各小学校地域づくりネットワーク会議（総称）」などを実施してきました。

出された意見は、校長の判断によって学校運営に採り入れられており、地域住民等が学校運営に権限をもって参画することが明確に認められているものではありませんでした。

コミュニティ・スクールの導入によって、地域住民が一定の権限を持ち、当事者意識をもって学校運営に参画することができます。その結果、学校と地域が一体となった組織的・継続的な連携・協働体制が確立されます。

また、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動が両輪で動いていくことで、意見の交流だけにとどまらず、目的の共有や課題の解決が効果的に実施できます。

この体制は三川町を「地域とともにある学校づくり」へと進化させる一歩と捉えています。